

---

10 月 30 日 (金)

---

受付開始： 12:00

午後の部会 (13:00~15:30)

**部会 1 国際組織と国際秩序—1940 年代再考**

司会 大芝亮 (青山学院大学)

報告 細谷雄一 (慶應義塾大学)

「普遍主義と地域主義の交錯—国連創設とイギリス」

三牧聖子 (関西外国語大学)

「アメリカの理想と国際組織」

石黒亜維 (大阪商業大学)

「中華民国と国連」

討論 山田哲也 (南山大学)

半澤朝彦 (明治学院大学)

**部会 2 古典的国際政治論の『英国学派』からの解放**

司会 小川浩之 (東京大学)

報告 西村邦行 (北海道教育大学)

「なぜ『アメリカの社会科学』に抗すべきでないか—記号としての英国学派とその限界」

葛谷彩 (明治学院大学)

「H・バターフィールドと高坂正堯の国際政治論—ドイツの知的伝統の視点から」

宮下豊 (所属なし)

「現状の防衛という自己義認—H・バターフィールドの政治的判断について」

討論 大中真 (桜美林大学)

宮下雄一郎 (松山大学)

**部会 3 ASEAN 共同体設立と東アジア地域秩序**

司会 大庭三枝 (東京理科大学)

報告 川島真 (東京大学)

「中国の対東南アジア・ASEAN 外交 (仮)」

清水一史 (九州大学)

「ASEAN 経済統合と東アジア」

鈴木早苗 (アジア経済研究所)

「ASEAN 協力の展開と東アジア」

討論 山影進 (青山学院大学)

佐橋亮（神奈川大学）  
中山俊宏（慶應義塾大学）

#### 部会4 対脆弱国家支援における「ハイブリッドな連携」—開発援助と安全保障をつなぐ安定化活動の課題

司会 吉崎知典（防衛省防衛研究所）

報告 藤重博美（法政大学）

「ハイブリッドな連携の国際的潮流—英国（開発中心）と米国（安全保障中心）の事例を中心に」

上杉勇司（早稲田大学）

「日本のハイブリッドな連携—"All Japan" の現状と限界、今後への課題」

安富淳（平和・安全保障研究所）

「『ハイブリッドな連携』をめぐる理論的考察」

討論 落合直之（国際協力機構）

川口智恵（国際協力機構）

#### 部会5 ヨーロッパにおけるガバナンスの現在（自由論題部会）

司会・討論 森井裕一（東京大学）

報告 佐藤良輔（神戸大学）

「ヨーロッパにおける移民統合政策の変容—『市民統合』政策への収斂とその多様性」

神江沙蘭（関西大学）

「欧州統合と金融ガバナンス—不均衡な発展」

東村紀子（大阪大学）

「『国益』と『人道主義』の狭間で揺れるフランスの移民政策—EU 共通移民政策の策定過程におけるパラドックスと今後の展望」

討論 白井陽一郎（新潟国際情報大学）

●分科会セッションA（15：45～17：15） 別掲

●分科会セッションB（17：30～19：30） 別掲

---

10月31日（土）

---

受付開始： 9：00

午前の部会（9：30～12：00）

#### 部会6 "Re-examining Korean and Japanese Grand Strategies" 【日韓合同部会】

Chair: Hiroshi Nakanishi (President, JAIR/Kyoto University)

Paper Presenters: Mataka Kamiya (National Defense University)

“Japan’s Grand Strategy and the U.S.-Japan Alliance (TBC)”

Kim Taehyun (Chung-Ang University)

“Systemic Change, the Search for Grand Strategies and  
Theories of International Relations”

Chun Chaesung (Seoul National University)

“Complex Evolution of East Asian Regional Architecture and  
South Korean Foreign Policy”

Discussants: Yasuhiro Izumikawa (Chuo University)

Park Young-June (Korea National Defense University)

### 部会7 Seventy Years of Post-World War II U.S.-Japan Relations 【英語部会】

Chair: Haruo Iguchi (Kwansei Gakuin University)

Paper Presenters: Tsuyoshi Kawasaki (Simon Fraser University)

“Postwar Japan-US Relations: A Perspective from Gilpinian Realism”

Marc Gallicchio (Villanova University)

“The Search for a Usable Past: The U.S. and the Lessons of the  
Occupation of Japan”

Sayuri Guthrie Shimizu (Rice University)

“The Hidden Cost of a Usable Past: A Gendered Reflection on  
Postwar US-Japanese Relations”

Discussants: Liang Pan (University of Tsukuba)

Isao Miyaoka (Keio University)

### 部会8 東アジアの公民運動と「中国ファクター」

司会 中居良文 (学習院大学)

報告 若林正文 (早稲田大学)

「『辺境東アジア』政治のアカウンタビリティ問題—2014年の台湾、香港、沖縄」

倉田徹 (立教大学)

「『中国化』と香港の社会運動—『中港矛盾』、『雨傘運動』とその先」

呉茂松 (慶応義塾大学)

「現代中国政治における維権運動の位相」

討論 鹿島正裕 (放送大学)

松田康博 (東京大学)

### 部会9 ドイツ統一をめぐる国際政治

司会・討論 妹尾哲志 (専修大学)

報告 芝崎祐典 (成城大学)

「ヨーロッパの中のドイツ統一」

吉田徹 (北海道大学)

「『分け隔てる壁は天空に届かず』—ドイツ統一をめぐるミッテラン外交」

吉留公太 (神奈川大学)

「冷戦終焉期におけるアメリカの対ヨーロッパ政策とドイツ再統一」  
討論 清水聡（青山学院大学）

#### 部会 10 国際秩序と領域性の変容—圏域・境界・統治

司会 岩下明裕（北海道大学）

報告 高橋良輔（青山学院大学）

「ポスト冷戦秩序の融解と古典地政学への回帰—未来としての過去？」

川久保文紀（中央学院大学）

「9.11 テロ以後の領域性と国境の揺れ動き—IR とボーダースタディーズからの示唆」

内田智（早稲田大学）

「国境横断的な熟議デモクラシーの正統性と代表性—EU の社会実験からみた制度化への争点と課題」

討論 宮脇昇（立命館大学）

前田幸男（大阪経済法科大学）

#### 部会 11 国際協調の諸相（自由論題部会）

司会・討論 芝崎厚士（駒澤大学）

報告 井上一郎（関西学院大学）

「中国の対外紛争におけるエスカレーションとその沈静化プロセス」

大原俊一郎（亜細亜大学）

「勢力均衡からヨーロッパ協調へ—勢力均衡思想の社会化過程」

重松尚（東京大学）

「ソ連＝リトアニア相互援助条約の交渉過程」

討論 青山瑠妙（早稲田大学）

志摩園子（昭和女子大学）

#### ●分科会セッション C（13：30～15：10） 別掲

##### 【共通論題】 日本の安全保障—戦後 70 年からどこに向かうのか—

15：20～18：10 1階大ホール

司会 遠藤誠治（成蹊大学）

パネリスト

北岡伸一（国際大学）

石田淳（東京大学）

佐藤学（沖縄国際大）

高原明生（東京大学）

池内恵（東京大学）

山口昇（国際大学）

総会 (18:10~18:40)

懇親会 (19:00~20:30)

---

11月1日(日)

---

受付開始: 9:00

●分科会セッションD (9:30~11:00) 別掲

●分科会セッションE (11:15~12:45) 別掲

●IRAPセミナー (12:45~14:00)

IRAP編集委員会は昨年度に続き、英語論文投稿の手引き解説や、実際に投稿経験のある会員の経験談を交えたチュートリアルからなる特別セミナーを開催します。十分な質疑応答の時間を設け、英語による知的発信が盛んになる契機にしたいと考えます。

関心のある多くの会員の出席をお待ちしております。またオックスフォード出版局の方にも出席をお願いし、会場の質問に対応したいと思います。

司会 多湖淳 (神戸大学)

プレゼンター 川崎剛(サイモン・フレイザー大学)

午後の部会 (14:00~16:30)

**部会12 戦後日本の「リアリズム」の射程—歴史・理論・実践**

司会 鈴木宏尚 (静岡大学)

報告 春名展生 (東京外国語大学)

「リアリストの誕生—国際政治学の戦前から戦後へ」

中本義彦 (静岡大学)

「日本のリアリズムとアメリカのリアリズム」

佐道明広 (中京大学)

「戦後日本のリアリストと安全保障政策—戦後の国際政治学と実践」

討論 福田毅 (国会図書館)

森田吉彦 (大阪観光大学)

**部会13 多中心化するグローバル・ガバナンスにおける国際機関の役割**

司会・討論 都留康子 (上智大学)

報告 山田高敬 (名古屋大学)

「水資源管理における目標志向型ハイブリッド・ガバナンスの可能性」

亀山康子 (国立環境研究所)

「気候変動レジームにおけるグローバル・ガバナンスの現状と課題」

内記香子（大阪大学）

「持続可能な食と農業分野におけるオーケストレーション：国際機関とプライベート・アクターの関係に注目して」

討論 三浦聡（名古屋大学）

#### 部会 1 4 終戦をめぐる国際関係—日中戦争・太平洋戦争を中心に

司会 戸部良一（帝京大学）

報告 鈴木多聞（京都大学）

「『昭和天皇実録』と日本の終戦」

松村史紀（宇都宮大学）

「終戦後、中ソ同盟の対日戦略」

李錫敏（慶應義塾大学）

「ソ連の対日参戦における政治的条件に関するローズヴェルトとトルーマン政権の認識の相違」

討論 庄司潤一郎（防衛研究所）

森山優（静岡県立大学）

#### 部会 1 5 集団安全保障の展開と現状【兼・市民公開講座】

司会 山本慎一（香川大学）

報告 山下光（防衛研究所）

「国連平和維持活動の変化と国際安全保障における意味合い」

山口正大（国連マリ多元統合安定化ミッション[MINUSMA]DDR 担当官）

「集団安全保障とアフリカ地域機構—その対応と課題、ソマリアとマリの事例から」

植田隆子（国際基督教大学）

「NATO、EU、OSCE— 集団安全保障・集団防衛・協調的安全保障」

討論 渡邊啓貴（東京外国語大学）

東大作（東京大学）

#### 部会 1 6 冷戦変容期の開発援助とアジアの自立化—戦後アジア国際秩序の再編との関連で

司会 木畑洋一（成城大学）

報告 菅英輝（京都外国語大学）

「アメリカの対韓援助政策と朴正熙政権の対応—冷戦の変容と『アジアの台頭』の文脈」

山口育人（奈良大学）

「エカフェからみる 1960 年代・70 年代アジア国際情勢の変容—工業化路線・地域経済協力の議論を手掛かりに」

前川一郎（創価大学）

「イギリス援助のアジアン・シフト」

討論 宮城大蔵（上智大学）